

## 令和7年度 後期 ビジネス・キャリア検定試験

## ロジスティクス分野

## 2級 ロジスティクス・オペレーション

## 試験問題

(14 ページ)

## 1. 試験時間 110分

## 2. 注意事項

- (1) 試験問題は、係員の指示があるまで開かないでください。
- (2) 表紙に記載されている試験区分名が、申請している試験区分名と同じか確認してください。申請している試験区分と異なる試験区分を受験した場合は採点できず、不合格となりますので、ご注意ください。なお、試験開始後に申し出られても、試験時間の延長はできません。
- (3) 試験問題は、40題あります。
- (4) 試験問題の配点及び合格基準は、次のとおりです。  
(配点) 問題1～問題40 各2.5点 合計100点  
(合格基準) 試験全体として概ね60%以上の正答。
- (5) 関係法令、会計基準、JIS等の各種規格等に基づく出題については、問題文中に断りがある場合を除き、令和7年11月1日時点で施行されている内容に基づくものとします。
- (6) マークシートにマークする際には、HB又はBの黒鉛筆で、はっきりとマークしてください。それ以外は使用しないでください。なお、訂正する場合は、採点の際にマークシートの誤読の原因となることがありますので、きれいに消してください。
- (7) 計算等が必要な場合は、問題用紙の余白を使用してください。
- (8) 問題番号及び問題文に従って正解と思われるものを1つだけ選んで間違えないようにマークしてください。
- (9) 試験問題の内容に関する質問には、一切お答えできません。
- (10) 試験中にトイレへ行きたくなった場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。
- (11) 試験終了時刻前に解答が済み、退出する場合は、黙って手を挙げて係員の指示に従ってください。ただし、試験開始後30分間及び終了前10分間は、退出できません。なお、退出する場合は、周りの受験者に配慮して、静かに退出してください。
- (12) 試験終了の合図があったら速やかに筆記用具を置き、係員の指示に従ってください。
- (13) 試験終了後、マークシートを必ず提出してください。ただし、試験問題は、持ち帰ることができます。なお、マークシートが提出されていない場合は、失格となります。
- (14) カンニング行為（他の受験者の答案等を見ること・他の受験者に答えを教えること・他者から答えを教わること・指定されたもの以外のものを机の上に置くこと等）、替え玉受験、不正行為と疑われるような紛らわしい態度をとる行為、他の受験者の迷惑となる行為、係員の指示に従わない場合などは、不正行為とみなされます。不正行為とみなされた場合は、直ちに退場となり、当該期に受験する試験区分のすべてが失格となります。
- (15) 試験問題の転載、複製などを固く禁じます。

問題文中、次の法令名は略称で記載されています。

- ・私的独占の禁止及び公正取引の確保に関する法律 → 独占禁止法
- ・エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等に関する法律  
→ 省エネルギー法

問題1 物流機能の内容に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送手段には、パイプラインが含まれる。
- イ. 荷役には、物流センター内で行われる値札付けやシール付け、商品の詰合せが含まれる。
- ウ. 貯蔵には、有事のための備蓄が含まれる。
- エ. 流通加工には、アイロンがけ、ハンガー掛けなどが含まれる。
- オ. 工業包装の目的は、品質の保護である。

問題2 ロジスティクス・オペレーションに関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ユニットロードやモーダルシフトの設計、物流拠点での日々の在庫水準の決定などは、物流事業者の重要な役割である。
- イ. 荷主企業が物流事業者にロジスティクス・オペレーションを委託するかどうかの判断要素として、トータル物流コストの比較が重要である。
- ウ. 荷主企業は、コスト比較だけでなく、企業の宣伝効果を考慮して自家用トラックを持ち、自家輸送する場合もある。
- エ. 荷主企業の行為が独占禁止法違反の疑いがある場合、物流事業者は公正取引委員会への通知を行うことができる。
- オ. 荷主企業の事業場において、委託先物流事業者のトラックドライバーが荷役作業を行う必要がある場合、荷主は物流事業者に事前に通知する必要がある。

問題3 輸送包装における適正包装に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流過程で包装品が受ける外力による影響から、内容品を保護する機能を有する包装。
- イ. 物流過程で包装品が遭遇する天候の変化によって、内容品の品質が低下しないよう、十分なバリア性を有する包装。
- ウ. 過大包装、過剰包装、ごまかし包装など、消費者の不利になるような条件をなくした包装。
- エ. 省資源、省エネルギー及び廃棄物処理を考慮し、荷扱いや保管を容易にするための配慮を行った包装。
- オ. 流通過程における、法律などで規定された表示などの条件が適切に守られた包装。

問題4 包装モジュールと包装モジュールサイズに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 輸送モードや貨物コンテナのサイズと対応した包装サイズに標準化することにより、積載効率が向上する。
- イ. 包装モジュールとは、ユニットロードシステムによる物流効率化を目的として、体系化された輸送包装サイズを得るための基準となる数値である。
- ウ. 一般に、包装を標準化してメリットがあるのは、小型で大量に取り扱われる製品（食品、菓子、日用雑貨など）である。
- エ. 包装モジュールサイズでは、小さすぎるサイズは実用的ではないため、最小サイズは200mm以上と決められている。
- オ. 包装モジュールサイズの箱をユニットロード化する際に適したパレット積付けパターンが、J I Sに示されている。

問題5 データキャリアに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. UHF帯のRFタグは、GEN2規格と呼ばれる世界共通の周波数を利用している。
- イ. ISOでは、RFIDを、モノに付けるタグをRFタグと呼び、人が携帯するタグをICカードと呼んでいる。
- ウ. RFタグとして最も利用されている周波数は、極超短波のUHF帯である。
- エ. ITFシンボルとは、下図のように、集合包装用商品コード（GTIN-14）を段ボール箱の定位置に太い黒枠で囲んだバーコードとして印字したものである。



- オ. 医療用医薬品などに使われる2次元シンボルは、極小シンボルが作れるData Matrixである。

問題6 パレット運用の現状と課題に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. パレタイズド貨物を増やすことは、積卸し時間やトラックの待ち時間を短縮することから、トラックの輸送力不足解消につながる。
- イ. T11型の利用比率は、レンタルパレットの普及が進んでいる日用品や加工食品業界などでも、5割に満たない。
- ウ. 発地と着地のパレットの規格や運用が異なる場合があるため、パレット化が可能な荷物であってもパレット間の積み替えやバラでの輸送が発生している。
- エ. パレット化が進まない要因の一つとして、積載効率低下による輸送コストアップが挙げられる。
- オ. レンタルパレットと比較して、荷主所有のパレットは回収の負担が大きい。

問題7 国際海上コンテナ輸送に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 一般に、海上コンテナ内での荷崩れ防止の部材に木材を使用する場合は、熱処理又は燻蒸処理等の対応が必要である。
- イ. 海上コンテナへの貨物の積み込みには、偏荷重、高重心を避けるなどの配慮が必要である。
- ウ. 工場や倉庫でのバンニング後に施錠し、海上輸送後に、荷受側にて解錠・デバンニングすることでドア・ツー・ドアの複合一貫輸送が可能である。
- エ. RORO船では、海上コンテナを積載したトレーラが自走乗船してトレーラヘッド（トラクター）を切り離し、シャシと海上コンテナのみで輸送することができる。
- オ. 海上コンテナのコンテナ船への積卸しには、ストラドルキャリアが使用される。

問題8 物流センター計画の進め方に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流センターは、その企業の経営方針や事業計画に沿って、ロジスティクスにおける事業推進の重要な役割を果たしている。
- イ. 物流センターの新設、大幅な改築が必要となるのは、取扱い貨物の増大や物流センターの老朽化などの要因により、改善レベルでは解決できない問題が発生した場合である。
- ウ. 物流センター計画における概略設計の提案書は、投資による物流センター新設（または改築）の経済効果を定性的に記載する。
- エ. 物流センター計画における基本設計において、機械化・自動化については、投資効果と経済性の観点から実現可能な範囲で導入計画を作成する。
- オ. 物流センター計画における詳細設計工程では、プロジェクトマネジメント業務を担当するプロジェクトリーダーの役割が大きい。

問題9 物流センター計画における基本分析に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 製品分析には、①作業別物量分析、②パレート分析、③時系列物量分析などがある。
- イ. 物量の分析では、月末ピーク、週間波動、季節波動などのピーク時にも対処できるようにすることが必要である。
- ウ. 物流センター内の経路分析は、入荷から出荷までの物流工程や工程間の作業をフローで示す分析である。
- エ. 品揃えや納品リードタイムなどの物流サービスの分析は、その選択により物流システム計画の考え方が変わる。
- オ. 時間の分析には、取引先や納入先の条件として、受注締切時刻や納品時刻などの分析がある。

問題10 物流センターの立地計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流センター計画において、物流センターを新築する場合と既存の建物を借りる場合の計画の自由度は、同じである。
- イ. 物流センターの立地検討では、物流センターに入荷する貨物の発送地、配送先の所在地を考慮する。
- ウ. 物流センター計画において、都市計画法、消防法、建築基準法などの適合状況についての確認が必要である。
- エ. 物流センター運営に必要な作業要員の採用がしやすい地域かどうかについて検討する。
- オ. 物流センター計画においては、資金繰りなどについて財務部門にも検討してもらう必要がある。

問題11 物流センターのレイアウト計画に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. レイアウト計画とは、物流センター内での作業の流れを考慮しながら、作業に必要なスペースの種類、面積と位置を定めることである。
- イ. レイアウト計画は、選定した土地の敷地面積、地形、交通アクセスなどにより制約を受ける。
- ウ. レイアウト計画の手順は、まず取扱い貨物の品目や量、出荷先の分布などを想定し、その上で物流センターの目的や位置付けを明確化する。
- エ. 物流センター内の基本的な貨物の流れには、ワンウェイ型とUターン型がある。
- オ. トラックバースにおける車両1台当たりの必要面積は、車両の回転半径などから軌跡図を作成し、算出する。

問題12 物流センターのマテハンシステムの計画に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. ピッキング作業の目的は、受注に基づいて正確かつ適正な時間内に受注した数の商品を取り出すことである。
- イ. 保管機器に求められる役割（スペース効率、作業効率、確実な管理）のうち、現在、重要視されているのは、スペース効率である。
- ウ. 品種別・オーダー別複合ピッキング方式とは、一定配送先数ごとに品種単位にまとめてピッキングし、その後に商品を配送先毎に仕分ける方式である。
- エ. マテハン設備の役割は、「運ぶ」「揚げる」「保管する」「積卸し」「積付け」「仕分け」「荷揃え」等である。
- オ. マテハンシステムの計画では、物流センターの作業における保管方式、出庫方式、搬送方式を検討し、導入する設備やシステムを選定する。

問題13 物流センターのオペレーション計画に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 流通センター（DC）とは、入荷商品を在庫せずに、即座に納品先ごとに振り分け（仕分け）、一括出荷・配送する物流センターである。
- イ. 作業標準書は、事務所の書棚等に保管し、必要な時だけ取り出して確認できるよう厳重に管理する。
- ウ. 各オーダーを品種別にまとめてピッキングを行い、方面別、車両別やトラック事業者別に仕分けることは種まき方式とは言わない。
- エ. オーダー別ピッキングは、リレー式を除いて基本的に1人のピッカーで行われる。
- オ. 物流センターを運営していくための要員数は、ピーク時の作業量に合わせて算定する。

問題14 物流センターにおけるマテハンシステム計画に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 入荷・保管はパレット単位で行われ、出荷はケース単位又はピース単位で行われる場合、ピッキング作業が必要となる。
- イ. 品種別ピッキングのデメリットは、作業者が同じ棚に何度も取りに行く必要があり、総歩行距離が長くなることである。
- ウ. 多頻度少量、供給リードタイムの短縮等の受注先からのサービスレベル高度化の要求は、ピッキング作業の迅速性や正確性には影響しない。
- エ. クロスドッキングは、米国よりも輸送リードタイムが短い日本の物流センターの方が効果を期待することができる。
- オ. ピッキング作業方式の選択については、どのようなときにどの方式を選択するべきかという明確な基準がある。

問題15 物流センターの機械化・自動化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 機械化・自動化の計画では、初めにその目的と目標を明確にし、MHシステムの狙い・方向性・範囲を決める。
- イ. 機械化・自動化計画の目標を明確にするのは、計画作成に関わる複数の人員が計画の目的を間違わないようにするためである。
- ウ. MH機器の選定に当たっての注意事項には、作業との適合性、投資効果の確認、柔軟性の確保などがある。
- エ. 仕分け機器の導入に当たっては、仕分け装置の仕分け能力とともに前後作業の処理能力も検討する必要がある。
- オ. 機械化・自動化機器の導入の理由として、物流サービスレベル向上のための正確性、迅速性など作業品質の向上は含まれない。

問題16 荷役作業の機械化・自動化に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 立体自動倉庫では、保管スペースの効率化のみならず、ピッキング作業の効率化やピッキング精度向上を図ることができる。
- イ. スライドシュー式仕分け装置を使って、中物、大物、長尺物を仕分ける場合、長尺物の仕分けの割合が増えるほど、時間当たりの仕分け個数は少なくなる。
- ウ. 設備導入効果の評価において、顧客に対するイメージアップや作業員のモチベーション等のように金額で表しにくい項目については対象とはならない。
- エ. 入荷検品作業の機械化・自動化では、荷役作業だけでなく納品伝票等の処理も併せて検討する。
- オ. 設備の保全には、事後保全、予防保全、予知保全などがある。

問題17 物流センターにおける情報システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 在庫管理システム（IMS）が対象とする作業は、入荷、入庫、保管、出庫、出荷である。
- イ. 倉庫管理システム（WMS）は、在庫管理システムと作業管理システムを統合したシステムである。
- ウ. 労務管理システム（LMS）とは、荷卸し、検品、ピッキング、流通加工、包装などの作業が、適切な作業時間と作業人数のもとで行えるように管理するシステムである。
- エ. デジタルピッキングシステム（DPS）とは、ピッキング指示情報が示す商品や物資の保管位置や数量を、デジタル技術を利用して表示するシステムである。
- オ. 自動仕分けシステム（ASS）とは、物資識別機器と自動仕分け装置を使用して、商品や物資を出荷先や方面別に仕分けするシステムである。

問題18 オペレーションミスの防止対策に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. オペレーションミスの直接的原因には、作業者の不注意、意識低下、疲労、錯覚、経験不足などがある。
- イ. オペレーションミスの防止対策として、ミスを犯した作業者に厳しく注意することが効果的である。
- ウ. 現場の5S活動（整理、整頓、清潔、清掃、躰）は、安全で働きやすい職場環境づくりとオペレーションミスの防止のために有効である。
- エ. 過去の実績及び顧客からの情報により、事前に日々の作業量を予測し計画的に作業者を配置することは効果的である。
- オ. 作業者への作業指示は見やすく、難しくなく、誤解しない、間違えない等の情報伝達方法とすることが重要である。

問題19 Q C 7つ道具に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 散布図では、グラフの起点を左にし、データ群が右肩上がりに分布すれば正の相関を示し、右肩下がりに分布すれば負の相関を示す。
- イ. チェックシートには、不適合や不適合項目がどのくらい発生しているかを示す調査用と、点検すべき項目をあらかじめ決めておく点検用がある。
- ウ. ヒストグラムを作成した結果、各区間に含まれる度数があまり変わらない場合、作業のばらつきが少ないことを示している。
- エ. 管理図とは、品質のばらつきを分析、管理するための図である。
- オ. 特性要因図とは、特性（結果）とそれに影響を及ぼすと思われる要因（原因）との関係を整理して体系化した図である。

問題20 作業改善の分析手法に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 工程分析では、工程が、「加工」、「運搬」、「貯蔵」、「滞留」の4つに分類されている。
- イ. 運搬活性分析で用いる活性示数は、その数値が低いほど、モノの運搬がしやすい状態であることを示す。
- ウ. MOSTのうち、包装のような繰り返し性の高いサイクル作業を測定する場合には、Maxi-MOSTを用いる。
- エ. ワークサンプリングの調査対象の作業が周期性のある作業の場合、観測間隔は、等間隔サンプリングを用いる。
- オ. 動作分析は、人の動作を18に分類したサブリックに集約して、その単位で作業動作を分析し、作業改善を図る手法である。

問題21 物流ABC（活動基準原価計算）に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流ABCのアクティビティ（一定の作業単位）は、物流センター内の作業の調査を基に設定する。
- イ. 物流ABCにおけるコストには、原材料費や人件費などの直接費だけでなく、減価償却費や賃借料などの間接費も含む。
- ウ. 物流ABCを行うことで、改善すべき作業だけでなく、条件を変えた場合のコスト効果も明らかにできる。
- エ. 物流ABCを行うことで、物流サービスレベルの変更に伴う効果が計算できる。
- オ. 物流ABCにおける人件費には、各種手当てやその他にかかる費用は含まれない。

問題22 物流作業に関わる特別教育及び技能講習に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. クレーン運転の業務に関わる特別教育を修了すると、つり上げ荷重5 t以上のクレーンの運転を行うことができる。
- イ. 床上操作式クレーン運転技能講習を修了すると、つり上げ荷重5 t以上の床上で操作する無線操作式クレーンによるつり上げ作業を行うことができる。
- ウ. フォークリフト運転技能講習を修了すると、積載最大荷重にかかわらず、フォークリフトの操作・運転を行うことができる。
- エ. フォークリフト運転技能講習を修了すると、フォークリフトを公道で走行させることができる。
- オ. 玉掛け技能講習を修了すると、つり上げ荷重に関わらず、全てのクレーン操作・運転ができる。

問題23 輸送機関に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. J I Sによれば、配送とは、貨物を物流拠点から荷受人へ送り届けることと定義されている。
- イ. 輸送機関ごとに特性があることから、輸送距離、輸送量、運賃負担力、リードタイム、商品特性等を考慮して、最適な輸送機関を選択する。
- ウ. 国内貨物総輸送量において、自動車貨物輸送は、質量ベースで9割以上を占めている。
- エ. 一般的な31ftコンテナは、最大積載質量10 tのトラックと比べて同等の内容積があるが、コンテナ自重が重いため、最大積載質量は10 tトラックより少ない。
- オ. 自動車貨物輸送の特徴には、ドア・ツー・ドアで輸送できること、時間の設定に対して特に柔軟性があること、小口貨物の輸送に適していること等がある。

問題24 輸送機関の特性に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 鉄道貨物輸送は、トラック輸送に比べ輸送中の微振動が強いため、緩衝材の増量や防振用パレット等の利用により振動対策に配慮する必要がある。
- イ. ダブル・スタック・トレイン（DST）とは、コンテナを2段積みして輸送する列車であり、北米だけでなく、インドや中国でも導入されている。
- ウ. 日本から米国西海岸に運んだコンテナを、DST等を利用して内陸部の都市に直接運行する複合一貫輸送では、パナマ運河経由より時間短縮が可能である。
- エ. フェリーやRORO船は、災害発生時に緊急輸送手段として重要な役割を果たすこともある。
- オ. 国内では、一般に片道の航路距離が200km以上のフェリーが長距離フェリーとされている。

問題25 輸送機関の選択に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 鉄道貨物輸送は、諸外国においても日本と同様に、トラック輸送に比べて到着時刻は正確である。
- イ. 12ftの鉄道コンテナと4tトラックを比較すると、積載貨物の内容に関わらず、鉄道コンテナの方が積載能力が高い。
- ウ. いわゆる10tトラックであっても、貨物の質量で10tを積むことができるとは限らないのは、工具や備品、荷台やシャシの架装強化等による減トンが生じるためである。
- エ. 鉄道コンテナ輸送は、トラック輸送よりもCO<sub>2</sub>排出量が多い。
- オ. 東京・大阪間のドア・ツー・ドア輸送であれば、トラック輸送よりも航空便の方が、発送の時間帯に関わらず、到着時刻は常に早くなる。

問題26 輸送機関の選択に関する記述として最も適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 消費者向けの通信販売においては、長尺物、嵩モノ等の配送含め、常に宅配便が利用される。
- イ. 幹線輸送をトラックから船舶や鉄道の利用に変更することは、輸送距離に関わらず単位当たりの輸送コスト削減に寄与し得る。
- ウ. 非定型物の輸送では、商品の特性や荷扱いの特殊性を十分考慮して輸送機関を選択する。
- エ. 利用するトラックを低公害車に切り替えても、温室効果ガスの排出量抑制にはつながらない。
- オ. 輸送機関の選択の際には、単位当たりの輸送コストが低廉な輸送機関を最優先で利用することが求められる。

問題27 物流拠点の立地も含めた輸配送ネットワークを構築する際に考慮すべき項目として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 受注から納品までのリードタイム
- イ. 時間指定納品や多頻度納品の対応可否
- ウ. 倉庫の賃借料や地域の人件費相場
- エ. 拠点間輸送費、配送費と保管荷役費などの物流費と物流サービスのバランス
- オ. パートタイム労働者を集めやすい大規模住宅地の近隣であること

問題28 小規模DC又は地域DPから地域配送する場合の配送エリアの決定に関する記述として最も不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 地域の配送先所在地毎の配送量等の実績データ又は予測データを収集する。
- イ. 隣接する地域毎に、仮の配送エリアを設定し、配送量を合計・整理する。
- ウ. 配送エリア毎の配送量を調整するために、必要であれば配送エリアの区分を見直す。
- エ. 配送量、配送上の制約条件から配送エリア区分を再検討する。
- オ. 一度決定した配送エリアの見直しは行わない。

問題29 輸配送計画のためのツールに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. VICS（道路交通情報通信システム）は、（一財）道路交通情報通信システムセンターが収集・処理・編集した道路交通情報を電波で送信し、カーナビゲーションなどの車載端末に表示させる仕組みである。
- イ. 輸送距離を最小にする最短経路探索で得られた経路が、実務上も、そのまま最適な配送ルートとして利用されている。
- ウ. AI（人工知能）を活用することによって、配車担当者やドライバーの経験則に近い学習効果を加味した配車が可能となる。
- エ. ITS（高度道路交通システム）は、車両自動識別や自動料金徴収などにより、安全性や快適性、輸送効率の向上を目指している。
- オ. 遺伝的アルゴリズムは、学習的計算手順であり、シミュレーションにより最短ルートを求めようとするものである。

問題30 貨物追跡システムに関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 宅配便業界における貨物追跡システムでは、一つひとつの貨物の個体番号（送り状の問合せ番号）毎に貨物の配送状況を確認することができる。
- イ. 宅配便業界における貨物追跡システムでは、貨物の現在地を把握することも可能である。
- ウ. トレーサビリティには、貨物の追跡に加えて生産履歴の確認の視点もある。
- エ. 工場へ部品を定時納品している車両については、貨物追跡システムを遅延防止や定時運行にも役立てている。
- オ. 貨物追跡システムによる情報提供により、商品・製品トラブルの二次災害を低減することも可能になる。

問題31 物流共同化の検討項目に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 共同配送を実施することで、物流サービスの差別化は困難になる。
- イ. 共同配送による効率化の効果には、積載率の向上、総走行距離の削減、リードタイムの短縮がある。
- ウ. 共同配送の効果の間には、トレードオフが存在するため、全ての効果を同時に得ることは難しい。
- エ. 共同配送の検討項目のうち、貨物特性には、温度、発送時刻や納品時刻、質量や取り扱いに注意が必要な壊れ物などの物性がある。
- オ. 共同配送の検討項目のうち、輸送条件には、出荷日時や納品日時の一致、輸送量や運賃負担力があることなどがある。

問題32 共同輸送と共同配送の特徴に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 同一方面での積合せによる共同輸送によって、積載率の向上と車両数の削減が期待できる。
- イ. 帰り便利用による共同輸送によって、片荷の解消と積載率の向上が期待できる。
- ウ. 共同配送センターが在庫機能や品揃え機能を持つ場合には、共同配送センターにモノ（商品や物資）を集約することで、効率的な品揃えや配送が実現できる。
- エ. 共同配送センターが積み替え機能だけを持つ場合は、積載率が低ければ、共同配送センターで積み合わせて輸送することで、車両台数を削減することができる。
- オ. 共同配送を実施すると、共同配送センターの設置場所に関わらず、環境負荷の軽減が可能である。

問題33 廃棄物輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 産業廃棄物、一般廃棄物とも、処理責任は市区町村などの自治体にある。
- イ. 産業廃棄物の収集・運搬の許可は、一業者一種類しか取得できない。
- ウ. 産業廃棄物を輸送する場合、各市区町村単位で廃棄物の収集・運搬の許可を取得しなければならない。
- エ. 爆発性、毒性、感染性、その他の人の健康又は生活環境に関わる被害を生ずるおそれがある性状を有する廃棄物を、特別管理産業廃棄物という。
- オ. リサイクル目的の貨物を輸送する場合、産業廃棄物の収集・運搬の許可は不要である。

問題34 国際輸送に関連する条約についての記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際海上輸送においては、日本はヘーグ・ヴィスビー・ルールを批准しており、同ルールに基づき、改正国際海上物品運送法が制定されている。
- イ. ヘーグ・ヴィスビー・ルールでは、航行又は船舶取扱上の船長、海員、水先人、使用人の過失について、海上運送人は責任を負う。
- ウ. ハンブルグ・ルールは、ヘーグ・ヴィスビー・ルールと比較して、海上運送人により厳しい責任を課している。
- エ. 国連国際物品複合運送条約では、ユニフォーム・ライアビリティ・システムを規定している。
- オ. 日本では複合運送人は、全輸送区間について一貫責任を負うが、物品の損害賠償については、貨物事故の発生区間で適用される規定による。

問題35 国際海上コンテナの運賃・料金に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. B A F は、燃料（重油）価格の変動に対して調整される燃料割増料金である。
- イ. C A F は、為替レートの変動に対して調整される通貨変動割増料金である。
- ウ. C F S チャージは、コンテナ・フレート・ステーションで発生する費用である。
- エ. T H C は、ターミナル内で発生するコンテナの取扱費用についての追加料金である。
- オ. ディテンションは、フリータイムを過ぎても陸揚げされたコンテナ内の貨物を引き取らずに留置された場合に課される。

問題36 日本発着の国際航空貨物輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 国際貨物を搭載した航空コンテナは、空港外へ持ち出すことはできない。
- イ. 貨物利用運送事業法では、利用運送事業者は複数の航空会社の貨物集配を代行することが禁止されている。
- ウ. 利用運送事業者は、航空貨物代理店との兼業は認められていない。
- エ. 貨物利用運送事業法では、空港間の利用運送だけでなく、その前後の集配を含めたドア・ツー・ドア輸送を行うものを第二種利用運送事業者と呼んでいる。
- オ. 混載事業者とは、荷主のニーズに合わせて、航空輸送と海上輸送を利用運送により使い分ける事業者を指す。

問題37 国際複合輸送に関する記述として適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 日本から欧州向けの東南アジア経由シー・アンド・エアは、航空よりも安く、海運よりも速い特性が評価され、その取扱量は増加傾向にある。
- イ. シベリア・ランド・ブリッジは、欧州向けのバイパスルートとして、日本企業が利用を拡大している。
- ウ. パナマ運河の拡張が完了し、20,000TEU級の大型コンテナ船が通航できるようになったため、アジアから北米東岸向けの北米西岸経由複合輸送に影響を及ぼしている。
- エ. 日韓複合輸送では、RORO船が利用されているものの、全てのトレーラが日韓両国を一貫走行できないため、港湾で貨物を積み替えている。
- オ. アジアから北米向けの複合輸送では、大型コンテナ船とコンテナ2段積み列車（DST）を組み合わせた複合輸送がよく用いられている。

問題38 省エネルギー法に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. パリ協定では、世界共通の長期目標として、産業革命後の気温上昇を2℃より十分低く保つとともに、1.5℃に抑える努力を継続することが目標として設定された。
- イ. 2025年に地球温暖化対策計画が閣議決定され、地球温暖化ガスを2035年度に2013年度比で60%削減する中期目標が掲げられた。
- ウ. モーダルシフトや共同輸配送など、複数の事業者が連携する省エネルギーへの取組を認定し、省エネ量を企業間で分配して定期報告することが認められている。
- エ. 荷主の定義は、貨物の所有権によって判断しているため、ネット小売事業者は省エネルギー法の規制対象外となっている。
- オ. 到着日時等を指示できる貨物の荷受側等の事業者を準荷主と位置付け、省エネルギー取組への協力を促している。

問題39 社会的責任 (Social Responsibility) に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 社会的責任とは、社会を構成する一員として、社会に与える影響に責任を持ち、持続可能な社会の実現に向けてその責務を果たすことである。
- イ. コンプライアンスとは、企業内の規律や社会的責任を含めて企業倫理を守ることである。
- ウ. JIS Z 26000 : 2012は、「社会的責任に関する手引」が規定されている。
- エ. ISO26000では、社会的責任を果たすための7原則を定めている。
- オ. 交通エコロジー・モビリティ財団が認証するグリーン経営認証は、物流に直接関連した環境マネジメントシステムであり、ISO14001と比べ取得が難しい。

問題40 労働力問題と自然災害に関する記述として不適切なものは、次のうちどれか。

- ア. 物流事業者の事業継続計画 (BCP) は、自社の事業の存続や緊急物資の輸送等、社会から求められる物流機能の確保といった視点から作成する。
- イ. 災害に対する事前の予防策として、最新版のハザードマップなどを参考に、自社の重要業務に与える被害程度を想定することが必要である。
- ウ. ドライバー不足への対応において、物流事業者は、発荷主企業、着荷主企業と連携して、リードタイムや運賃料金など取引条件の見直しを図っていくことが重要である。
- エ. ドライバーの労働時間短縮のためには、拘束時間に含まれる荷物の積卸しのために待機している時間などである荷待ち時間の削減が必要である。
- オ. 災害時の物資拠点として利用可能な民間施設は存在しない。